

## 沖縄三育小学校学校評価 2009(平成21)年度

本校では、平成20年4月に、教師会において学校評価システム検討委員会を発足し、「学校評価ハンドブック」に提示することとしました。

ハンドブックの内容は以下の通りです。

- 1 学校評価についての基本的な考え方
  - (1)学校評価のねらい
  - (2)学校評価の定義等
- 2 学校自己評価の取り組み～学校関係者評価の実施に向けて～
  - (1)目標の設定
  - (2)自己評価項目の設定
- 3 学校関係者評価
  - (1)学校評価システムと学校関係者評価
  - (2)学校関係者評価委員会
  - (3)学校関係者評価委員会の進行手順
- 4 設置者への報告
- 5 評価結果の公表

### 本校の平成21年度自己評価、学校関係者評価の計画

校内学校評価委員会の設置

21年度重点目標の設定

評価項目及び具体的な取り組みを決定

↓

学校関係者評価委員を委嘱する

↓

児童、保護者、教職員対象のアンケート調査を実施

自己評価実施

↓

アンケートおよび評価結果を踏まえ改善方法の検討

↓

学校関係者評価委員会を開催し、総合的に判定。

評価委員より意見書

↓

評価報告書の作成

法人理事会、県総務私学課、保護者総会、学校HPでの公表

↓

改善案に沿った行動の実施

## 平成21年度の重点目標

新学習指導要領の21年移行期の確実な実施  
評価案の改訂（自己評価、内部評価、外部評価）  
豊かな心を持ち、夢・実行力のある児童の育成のため、学習支援活動の強化  
授業の到達目標と評価基準の明確化  
教職員人材育成カリキュラム  
人事管理の拡充（心の健康管理、労基法遵守の徹底）  
学力向上カリキュラムの実施  
支援団体（教会、幼稚園、保育園、保護者会）との関係強化  
中長期経営計画の作成

## 平成21年度アンケート調査、自己評価結果報告

年末年始に行った児童調査では、17項目中9項目でおおむねまたは特に評価するプラスの結果だった。また、昨年度調査よりポイントが向上したのも4項目あった。しかし、教師への質問のしやすさ、読書の整備や読書指導、評価方法のわかりやすさ、地震や不審者など緊急時の訓練が十分か・・・の4項目では、マイナス評価がある。児童の悩みや不安に対する相談に教師がのってくれるか？では、まだマイナス評価が目立った。この点に関して教師会や関係者評価委員会で討議した。結果、教師と児童だけでなく、保護者も加わって連携を図りさらに改善を目指すこととした。保護者調査では昨年同様、すべての項目でプラスの評価がありました。

これを受け、学校では即効性のあるものに関しては次のような取り組みを行い、改善を図った。

- 図書コーナーを移動し図書室化。
- 三育おすすめ100冊の次年度導入へ向けた整備。
- 保護者会協力による「読み聞かせ」
- 緊急避難訓練の複数実施
- 訪問者のチェック強化
- 備品の配置換え・整理
- 校内清掃の徹底と機械化

## 平成21年度学校関係者評価報告

学校評価と教師会の総括を受け、学校関係者評価委員会から下記のような意見・提案があった。

- 教育課程 系統的に育て上げるさらなる工夫を目指す。  
神様の愛をつたえることに自信を持って前進を。
- 学習指導 リニューアル図書室の利用率向上と目標を設定して読書の動機付け。  
読み聞かせなどサポートの利用。  
文章力の強化など。

生活指導 家庭・学校・児童の連携を図った指導。

挨拶の徹底。

そのほかにも、元気な情報源の公表（表彰などの様子）、家庭生活の改善への協力を継続して呼びかける。保護者の口コミを大切にし、正しく前向きな情報発信を心がけるなど、前向きな提案と学校への励ましがなされた。今後も、評価の結果を振り返り検証しながら、よりよい形を目指して努めていきます。